

不払い 融資 ぐし
なんでも相談会

要予約
TEL 03-3986-2471

6月のなんでも相談会は、27日(火)法律相談、26日(月)税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。13時半から1人30分まで、1日4組の相談枠を設けます。無料ですが、30分を越える相談の場合は、後日に有料での相談になります。

けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



春のなかまづくり
拡大運動

3つの分会で目標達成、仲間の“声”と“数”が力に

豊島支部は、仲間を増やす運動を定期的に行います。4月、5月と9月、10月は集中取組み期間として、日中や夜間に行動日を設けて、有志の方々が集まり組合員訪問などを行っています。

東京土建がなかまを増やす理由とは？

私たち労働組合は、労働者の権利や利益を守るための団体です。そのためには、労働者たちが直面する様々な困難をすくいあげ、その改善実現に取り組みます。多くの問題点をすくい上げるには、多くの仲間の情



報が必要になります。また、労働条件を改善するために国や会社と交渉する時に、組合員の数が多ければ多いほど、交渉や要求のもつ影響力が大きくなります。これまでも、個々の組合員が力を合わせて大きな力を作って、新たな健康保険制度を国から勝ち取り、現在もその制度を維持し私たちの健康を守りつづけています。

コロナが収束して、今年は4年ぶりに活発な仲間づくり運動を展開しています。豊島支部にある6つの地域分会(さくら、上池袋本町、南池、池袋、かなめ、椎名町)では、4月、5月の2カ月間で、新たに加入させる仲間の人数を分会目標と決めて、目標達成に向けて週に2日ほどの集中行動日に分会センターに集合します。

2023年、春の月間拡大で、豊島支部は86人の新しい仲間の加入を目標に決めました。そして5月12日現在65人が加入しています。4月と5月は、季節柄新入社員の加入も多く、仲間作り運動も順調に進んでいます。

分会の仲間へお話を聞かせて下さい

3つの分会が目標を達成し、それ以外の分会も達成まであと一人としています。仲間を増やすことも重要ですが、訪問して顔を合わせて、直接対話することが、仲間づくり運動の最も肝心な部分です。

夜間のくつろいでいる時分に、組合の仲間たちが突然インターフォンを鳴らすかも知れません。その時は、短時間でも結構ですのでドアを開けて、組合への要望や制度への質問、仕事や生活で困っていることをお話し下さい。

つぶやき

78年前にあった日本人難民

映画『望郷の鐘』は、1932年生まれの山田火砂子監督が“満州国”のことを知ってほしいと製作した映画です。

主人公の山本慈昭さんは1945年に一家で満州に渡ります。おりからの世界恐慌で、日本国内でも失業者があふれ、政府は大々的に満州開拓の移民政策を行いました。約27万人から32万人の日本人が満州には住んでいました。

1945年8月9日、ソ連軍が日ソ不可侵条約を破って満州に攻めてきて、山本さんは家族と引き離され、シベリアに抑留されます。1947年に帰国しますが、家族は亡くなったと知らされます。関東軍に置き去りにされた満州の日本人は、言葉に尽くせないほどの悲惨な運命をたどりました。

1965年、日本で亡くなった中国人労働者の遺骨をもって訪中した山本さんのことを知った残留日本人から、肉親探しを求める手紙が届きます。それを機に生存している中国残留孤児の存在を知り、山本さんの活動が始まりました。山本さんは国の協力が得られないなか、自分の収入のほとんどを活動につぎ込みました。しかし、なかなか埒が明かず、1972年の日中国交正常化後、訪中しての肉親探しが行われはじめ、1981年に国による集団訪中調査はようやく予算化され、開始されました。マスコミでも残留孤児の報道がされ、戦後中国で生きてきた孤児たちの悲しみや苦悩に多くの人が涙しました。今もシリア、ウクライナなどの戦争により難民となっている人々の報道を見る時、78年前にあった日本人難民のことを思い出してほしいと思います。

広瀬千鶴(上池袋本町分会)

インボイス 個別相談会のお知らせ

インボイスの本来の意味は、明細請求書です。インボイス制度とは「適格請求書等保存方式」とも呼ばれ、所定の要件を満たした請求書や納品書を発行、保存の義務を求められる制度です。

インボイス制度は消費税と密接に関係します。そして、消費税を支払っている事業者はもちろん、売上が1千万円に満たない消費税免税事業者にも大きく影響する制度です。

今年の10月からインボイス制度が始まりますが、毎年確定申告をしていて、この期に至ってもまだインボイス制度についてよく知らない、あるいはインボイスの登録しようかと迷っている人は、ぜひ相談会へご参加下さい。

日時 6月20日(火) / 26日(月)
10:00~16:00(45分ごと)
場所 東京土建豊島支部会館
※FAXにてお申し込みください。
FAX番号 03-3986-2076

参加無料
2023年10月1日開始
「インボイス制度個別相談会」
日時/2023年6月20(火)・26日(月)
10:00~16:00(45分ごと)
場所/東京土建豊島支部会館
申込/事前申込(必ず予約をお願いします)
※メールかFAXにてお申し込みください。

氏名	
連絡先	
希望する時間帯	①10:00~10:45
	②10:45~11:30
	③13:00~13:45
	④13:45~14:30
	⑤14:30~15:15
	⑥15:15~16:00

4年ぶりのメーデーデコレーションで 優秀賞を獲得

5月1日に第94回中央メーデーを代々木公園サッカー場で開催しました。大会実行委員会の発表では、15,000人の来場者が参集して、式典のあと3つのコースに分かれてデモ行進を行いました。デモ行進では、働く者たちの団結をアピールし、生活と仕事を守る権利、民主主義に基づく平和を求めるシュプレヒコールを挙げました。

参加者制限もなく、デモ行進・デコレーションコンテストを盛大に行う、メーデーらしいメーデーが4年ぶりに復活しました。

豊島支部からは、30人の仲間が参加しました。しかし、最後に通常開催された2019年のメーデー参加者が75人であったことを考えると、コロナ禍による縮小開催で、メーデーに積極的に参加するという意識から離れてしまった3年のブランクの大きさを痛感させられました。

コロナ禍で見送られていたデコレーションコンテストも、今年は開催され、ほぼ全支部からエントリーがありました。

豊島支部では、どんなものを作るかを実行委員会で討議しました。コロナが引き起こした諸問題は、政府によるミスリードがそのダメージを

さらに拡大させたとの見解から、歴代首相が爆弾に見立てたコロナウィルスを町に落とそうとしている姿をモチーフにしたデコレーションの製作を決めました。コロナウィルスのトゲトゲを長くして、そこからまらるように、物価高、消費税、インボイスの立体文字を配置したコロナウィルス爆弾は大変目を引き、表参道を歩く多くの人達がスマホのカメラを向けていました。

デコレーションコンテストは、各支部の教宣部長達はその出来栄を採点し、順位付けをします。今回の出来栄は、制作者側の期待を越えていたようで、最優秀賞に次ぐ優秀賞を獲得しました。ただ、予想外の受賞ではありましたが、製作の過程で、より多くの若い世代の仲間たちの協力を得られれば、もっと面白いものが



メーデーデコ製作秘話

原沢さん3回めの優秀賞

今回のデコレーション製作の中心的役割を果たしたかなめ分会の原沢さんは、ベテランの大工さんです。デコレーションのコンセプトも原沢さんのアイデアでした。過去にいくつものデコレーション製作に携わってきて、優秀賞や佳作に選ばれました。

アピールすることを一番に、奇抜さを求めた構図をまずイメージしました。そして、最初は爆弾だったモチーフをコロナウィルスに置き換え、スパイクタンパク質のトゲをよりデフォルメして目を引くように工夫しました。爆弾に張り付けるだけだったインボイス等の文字を立体的に造形して、トゲトゲに絡めるアイデアが浮かんだ時は、今年も優秀賞くらいはとれるだろう、と確信したそうです。大工なのに木工での制作にこだわらず、発泡スチロールやプラスチックでオブジェを成形して、イメージやメッセージを形にしていく過程に、一緒に製作に携わった仲間たちも「腕の良い職人とはこう言うもの」の一言に尽きたとのことでした。



できたのではないかと、どの辛目の自己採点でした。

忙しいなか時間を作ってデコレーションの製作に携わった仲間たち

に、コロナ後の最初のメーデーを盛り上げてくれたことを深く感謝し、支部の別を越えてねぎらいの言葉を送りたいと思います。

観劇補助を知っていますか

東京土建豊島支部では、皆さんにより健康で、文化的な生活を送って頂くための厚生制度として観劇補助制度の拡充を下記の要領で行います。

- ① 明治座が主催する公演
- ② 豊島区立芸術文化劇場及び東京芸術劇場で開催される公演
- ③ スポーツ観戦 (陸上競技・水泳・各種球技・格闘技など)
- ④ 映画鑑賞 (どこの映画館でも可)

【組合員のみを対象とする】

6千円以上のものは一律3千円を、6千円以下のものは半額を上限に年度1回を限度に支給します。また、映画鑑賞(上記④)については、映画館にて鑑賞された場合年度2回を限度に、1回の申請につき千円の補助を支給します。

※チケット代が千円未満の場合は、その金額をお支払いいたします。また、非売品や招待券などで鑑賞された場合は、補助の対象外となります。



豊島支部日曜健診+女性健診のお知らせ

日曜健診 6月25日

対象者 豊島支部組合員と土建国保加入者
対象者は一般健診を無料で受けられます。

会場 鬼子母神診療所 / 東京健生病院 / 東京メディカルクリニック

申込み締切日 6月9日

女性健診 7月9日

対象者 女性の豊島支部組合員と土建国保加入者

会場 東京メディカルクリニック

申込み締切日 6月23日

女性特有のがん検査が特別価格で。婦人科検査を女性スタッフが対応致します。申し込みは所定の申込用紙に記入してFAX(03-3986-2076)でお願いします。

ふだん出来ない体験—地引網ツアー—

人気です

- 日時** 7月2日 日帰りバスツアー
- 場所** 池袋西口東京芸術劇場前 7時集合 岩井海岸(千葉県南房総市)～三井アウトレットパーク
- 対象** 50歳代までの家族(定員80名)
- 料金** 大人3千円 小学生2千円 未就学千円



【申し込み方法】 電話かFAX、豊島支部LINEでお申し込み下さい。昼食は、地引網で採れた魚をバーベキューで召し上がって頂きます。ぜひご家族そろってご参加下さい。

仕事でドローンを活用してみませんか

- 日時** 6月3日 18時半～20時
- 場所** 東京土建技術研修センター
- 料金** 無料 (交流会参加費は千円)



【申し込み方法】 電話かFAX、豊島支部LINEでお申し込み下さい。締切5月31日 高所の点検、現場の施工管理等でドローンの活用はすでに一般的になってきています。この機会に、ご自身の業務にドローンが活かせるのかを、また、どのように利用すれば良いのかを学習して下さい。当日は実機を手にして、テスト飛行の時間も設けます。